

2021年4月19日 日刊建設工業新聞

大矢光夏さん（浜松工高）に表彰状

エコバッグデザインコンテスト

総合資格



右から藤吉常務執行役員、大矢さん、柳澤副校長

総合資格（東京都新宿区、岸隆司社長）が実施した第1回「学生の学生による学生のためのエコバッグデザインコンテスト」で、伊東豊雄賞（優秀賞）を受賞した。

大矢光夏さん（静岡県立浜松工業高校建築科2年）の表彰式が14日に浜松工業高校で行われ、同社の藤吉博利常務執行役員中部本部長が表彰状と目録を贈った。大矢さんの作品は今夏をめぐりに製品化する。

作品のテーマは「エコバッグを使うことで救える動物をモチーフにした遊具がデザインのエコバッグ」。ウミガメが餌と間違えビニール袋を食べ、命を落とすなど海洋環境汚染が問題となっている。大矢さんは海洋生物をコンセプトに、ウミガメやクジラ、イルカなどを公園の遊具に見立て、遊んでいる子どもの姿も取り入れてデザインにした。

同社宣伝部の小野寺優部長は審査の経緯について

「素材でエコを考えるアイデアは多かったが、海洋生物にまで思いをはせていた。審査委員も『考えが深い』と評価し、製品化は満場一致で大矢さんの作品に決まった」と説明した。

大矢さんは「普通に生活していたらエコバッグのデザインなど考えない。コンテストは考えが広がりいい経験になりました」とコメント。柳澤文之副校長は「コンテストやコンペなどで認められると自信につながる」と話した。

コンテストは建築や土木などを学ぶ学生を対象に作品を募集し、3月に受賞作

品が決まった。大矢さんは授業の一環で応募した。同社はコンテストを定例化する。学生のアイデアをさまざまな形で世間に送り出す企画もシリーズ化する考えだ。